

第39回きらっせ祭り 緊急時避難計画

きらっせ祭り実行委員会

津波等発生時の避難対策

1. 波崎海水浴場東側避難路の確保と警備体制強化
2. 波崎海水浴場西側避難路の確保と警備体制強化
3. 漁港避難路の確保と警備体制強化
4. メイン会場内における避難周知活動
5. 緊急時の対応マニュアルと連絡体制

津波等発生時の避難対策を計画する上での避難条件

- 徒歩による避難を前提とする。
- 避難開始時間は発災から10分後、最初の津波到達は発災から40分後で想定、実質的な避難猶予時間は30分間とする。
- 避難時の歩行速度は夜間であること、お年寄りや子供が多いことを考慮し、もっとも遅い避難者の歩行速度を東日本大震災時の平均歩行速度（ 0.74m/s ）の約 $1/3$ （ 0.25m/s ）で想定、もっとも遅い方でも30分間で約450m内陸地へ避難できるものとする。
- 最終目的避難場所までの直線距離及び収容人数
 - ①波崎東ふれあいセンター(旧波崎東小)
（約440m）屋外11500人、屋内4700人
 - ②波崎灯台跡公園（約500m）4400人

波崎海水浴場における避難路



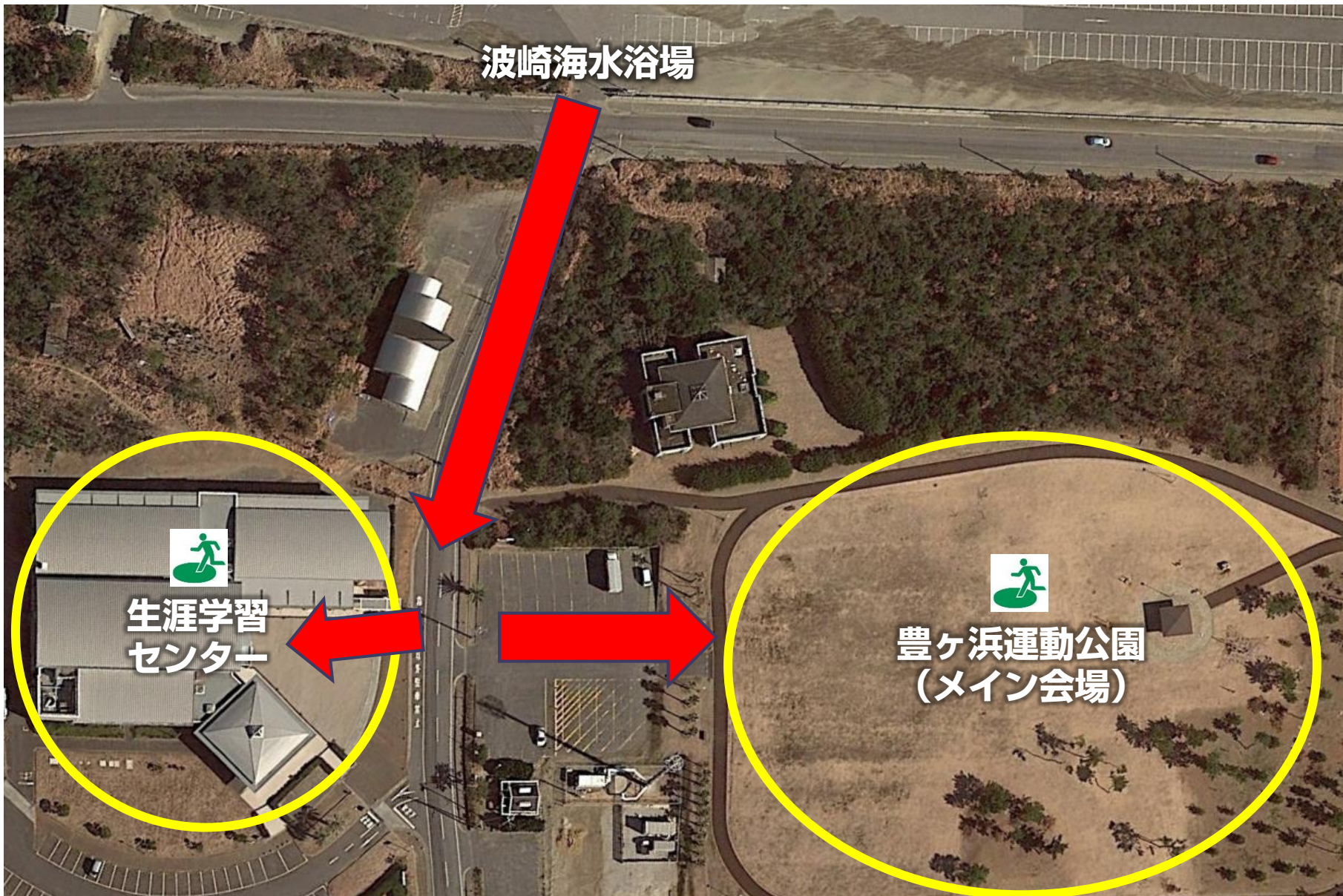
(1) 1. 東側避難路及び警備体制（波崎海水浴場駐車場内）



(2) 1. 西側避難路及び警備体制 (波崎海水浴場駐車場内)



(2) 2. 西側避難路及び警備体制（生涯学習センター前）



3. 漁港避難路及び警備体制

